

## 出産直後の女性が母親として自信を育むための助産師による環境サポート（NPO）

### 【助成事業の概要】

福祉的な支援を受けにくい出産直後から2か月目までの母子を対象に、助産師を中心としたデイサービスを運営し、前向きな子育ての環境を整えることで、ネグレクトなどの虐待防止につなげた事業です。産後の母体や乳児の体調変化などの助産師ならではの専門職のサポートときめ細やかなサービスで、安心感を提供しています。

### 【助成金の使途】

助成金は、産後デイサービスの訪問旅費、スタッフ賃金のほか、報告リーフレットの印刷製本費などに使われています。

### 【助成事業の成果】

送迎やランチの提供、子どもの着替の用意など出産直後の母親の立場に立ったきめ細やかな支援と、地域密着情報の提供、利用日以外の電話相談、急なトラブルへの対応など、助産師ならではの専門的な支援により母親が肯定的で前向きな気持ちで子育てに取り組めるようになり、虐待の防止につながっています。また、同じ境遇にある母親同士の交流を促すことで、孤立感の解消を図っています。



## 虐待のハイリスク要因をもつ家庭の早期発見と地域の予防的支援づくり（NPO）

### 【助成事業の概要】

米国で虐待防止の効果が実証された家庭訪問のプログラムを使って、予防的な活動を展開する地域資源を結びつけ、早期の家庭訪問でハイリスク家庭を支援するための土壌づくりを行った事業です。行政の専門職、家庭訪問員の実践者、大学の研究者などと連携・協働し、専門性の高いネットワークで予防的支援の仕組みを構築しました。

### 【助成金の使途】

助成金は、ネットワークづくりのための経費、専門スタッフによる家庭訪問経費及びスキルアップ研修費、報告書印刷製本費などに使われています。

### 【助成事業の成果】

訪問での見守りが必要な家庭をふるい分けするチェックリストを日本の子育て文化に合った使いやすいものにカスタマイズし、子育ての問題解決につながる家庭訪問事業を実施しています。

ふるい分け項目は、母子手帳を交付する際のアンケート調査票として市での導入が決定。また、保健師による新生児訪問の際に家庭訪問員が同行する仕組みとしたことで、地域の中でのその後のスムーズな訪問支援の実現に役立っています。

さらには、調査・活動の内容を数値化してわかりやすくとりまとめ、関係機関に配布。虐待のハイリスク要因を持つ家庭の早期発見と地域での予防的支援づくりに役立っています。



## 学習支援と地域交流サロンにより子どもが安心できる居場所づくりを提供（NPO）

### 【助成事業の概要】

子どもたちの自尊感情の軸となる安心感や意欲を取り戻すことを目的として、地域サロンで多様な人と出会い、つながり、生き抜く力をつける機会を提供するとともに、学習・相談支援のプロジェクトとして、生活・就労で困っている子どもへ、ともに学び直す機会を提供する事業です。自身のことを一緒に考えてくれる大人がいるという信頼関係を築き、一緒に学び、学習支援、進路相談を繰り返すことで、子どもたちの自立できる力を醸成します。

### 【助成金の使途】

助成金は、地域サロンや学習・相談支援のプロジェクト教材費・スタッフ謝金、リーフレット印刷製本費、イベントの会場費などに使われています。

### 【助成事業の成果】

虐待などを受けている子どもが団体スタッフと信頼関係を構築することによって、子ども自身から虐待などの事実を話すことができるようになり、早期発見に繋がっています。その後、心のケアを行いながら自立できる力を養うことで、虐待の連鎖を防ぐ狙いもあります。また、深刻な問題を抱えている子どもは児童相談所につなげ、逆に児童相談所や学校からの情報提供で虐待の疑いがある子どもの見守りを行うなど、地域との連携ができています。



## 虐待を受けた子どもの居場所の市民への認知度向上とシェルター運営（NPO）

### 【助成事業の概要】

虐待を受けるなどして居場所のなくなった子どもを緊急に保護し、傷ついた心身を休ませるとともに、自立に向けた準備を行うことを目的として、地域の専門機関・支援団体が連携しながら子どもシェルターを開設運営するとともに、市民の方々に子どもへの支援の必要性を訴えるシンポジウムや普及啓発のための広報を行った事業です。

### 【助成金の使途】

助成金は、市民への普及啓発のためのニュースレター・シンポジウム開催経費、そして、シェルター開設・運営経費やスタッフの養成研修経費に使われています。

### 【助成事業の成果】

居場所のない子どもの存在と、安心・安全なシェルターの必要性について、地域社会に効果的に伝えられた結果、認知度のアップに貢献できています。合わせて、概ね15～19歳の女性を対象にした定員5名のシェルターを運営することで、緊急避難が必要な子どものサポートに役立つとともに、児童相談所での恒常的な定員超過からの緩和・解消にもつながっています。また、地域での多くの賛同者が得られたことで、事業の安定性の向上にも役立っています。

